

教育 GP ニュース 第 8 号

1) 電子黒板の導入について (土井准教授)

平成21年度より技術教育支援室とともに整備を進めてきた電子黒板の設置が完了しました。今年の総合工学実験実習Ⅳでは、プロジェクト活動のなかで使用される電子黒板およびトランシーバーの使用法について導入教育をおこないました。その後、プロジェクトミーティングを始め、早速電子黒板を活用しているグループもあります。そうした様子を見ていて、電子黒板の導入には、記載事項を記録できることに加えて、もうひとつメリットがあることに気がきました。それは、新たな事柄を記載する際に、すでに記載した情報を取捨選択して消去する思考時間や、実際に消去する作業時間を格段に短縮できることです。学生たちは、議論内容を記述しながらどんどんと議論を進め、話題が変わるとページをめくる感覚で新しいページを用いている様子が見受けられました。



図1 電子黒板導入教育風景

2) 今年の教育GPの主要な予定 (土井准教授)

今年の教育GP主要取組は以下の通りです。なお、これらは現時点の予定であり、変更の可能性がります。

4月15日(木)	ものづくりの現場を聴く講演会(5年)	(株)エイワット 柴田政明氏
7月15日(木)	卒業製作中間発表会(総合工学実験実習Ⅳ)	日本技術士会近畿支部, C-KEEP
9月9日(木)	ものづくりの現場を聴く講演会(2年)	(株)TSコンサルタント 竹内鉦造氏
11月7~8日(土日)	卒業製作展示会(総合工学実験実習Ⅳ)	日本技術士会近畿支部, C-KEEP
12月20日(月)	ものづくりの現場を聴く講演会(1年)	(株)TSコンサルタント 竹内鉦造氏
12月26日(日)	近畿地区高専GP交流フォーラム(仮題)	近畿地区高専(依頼予定)
2月3日(木)	ものづくりの現場を聴く講演会(2年)	(株)TSコンサルタント 竹内鉦造氏
2月9日(水)	ものづくりの現場を聴く講演会(3年)	(株)TSコンサルタント 竹内鉦造氏

3) 教員情報の充実に関して (土井准教授)

本校教育GP取組の主要成果として総合工学実験実習テキスト集の編纂を来年度に予定しています。対象科目として、総合工学実験実習Ⅰ~Ⅳ、特別研究、各コース実験を予定しています。体裁等については、技術教育実験実習WGのなかで議論をすすめています。現在、各教員に担当している実験実習テーマについてテキスト公開の準備を依頼しているところです。また、教育GPプロジェクトでは、著者紹介ページおよび研究シーズ集の準備として、研究分野や研究テーマをまとめた情報収集と公開を進めています。